

## 広沢寺の大ソテツ

～秀吉の手植えによる樹齢400年の大ソテツ～

名護屋城跡山里丸の広沢寺は、秀吉の側室広沢局が一堂を建てたのが始まりとされる禅宗寺院で、ここの境内に文禄の役の際、加藤清正が朝鮮から持ち帰り、秀吉に献上され、秀吉が手植えたと伝えられる大ソテツがある。

ソテツは中国南部から、沖縄や九州南部に自生する雌雄異株の常緑低木であり、夏に雄花雌花をつける。

この大ソテツは、根回り樹高とも約3m、枝張り約6mあり、主要な枝だけで40数本もある巨木である。

大正13年（1924）12月9日 国の天然記念物に指定  
唐津市鎮西町池の端  
植物

分野 自然

地域 鎮西

◎地図・写真・統計資料など



（『佐賀県の文化財』より）

◎引用・参考文献（出典）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)